

# HIDWR

## 兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2025年第32週(8月4日~8月10日) 兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページにてご覧ください。 <https://id-info.ijhs.go.jp/>

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減	
	今週	先週				今週	先週		
インフルエンザ	0.31	0.13	+0.18	↑	手足口病	0.54	0.83	-0.29	↓
COVID-19	5.00	4.80	+0.20	↑	伝染性紅斑	1.99	2.07	-0.08	↓
急性呼吸器感染症	41.99	43.86	-1.87	↓	突発性発しん	0.34	0.21	+0.13	↑
RSウイルス感染症	0.57	0.39	+0.18	↑	ヘルパンギーナ	1.23	1.94	-0.71	↓
咽頭結膜熱	0.51	0.63	-0.12	↓	流行性耳下腺炎	0.07	0.04	+0.03	↑
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.36	1.26	+0.10	↑	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	±0.00	→
感染性胃腸炎	5.77	4.86	+0.91	↑	流行性角結膜炎	1.15	0.80	+0.35	↑
水痘	0.21	0.25	-0.04	↓	※2025年4月7日(第15週)より、定点数が変更となりました。				

基幹定点の罹患数: 細菌性髄膜炎 2人(0.14人)、無菌性髄膜炎 7人(0.5人)、マイコプラズマ肺炎 7人(0.5人)

※括弧内は定点あたりの患者数

※2025年4月7日から、急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ(急性呼吸器感染症(ARI))をご覧ください。 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari.html>

### COVID-19(新型コロナウイルス感染症)に関する情報

#### COVID-19(新型コロナウイルス感染症)

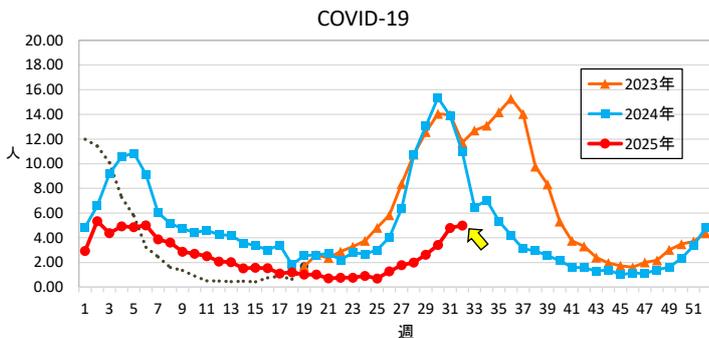
兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **5.00人**(先週 4.80人)となり、増加しました。

地域別では宝塚保健所管内が 10.17人と最も多く、丹波保健所管内 9.83人、加古川保健所管内 9.30人となっており、年齢別では 50~59歳が 13%、40~49歳及び 60~69歳が 11%、10~19歳及び 70~79歳が 10%となっています。

また、社会福祉施設等においては、今週 6件(先週 6件(修正有))の集団発生が報告されています。

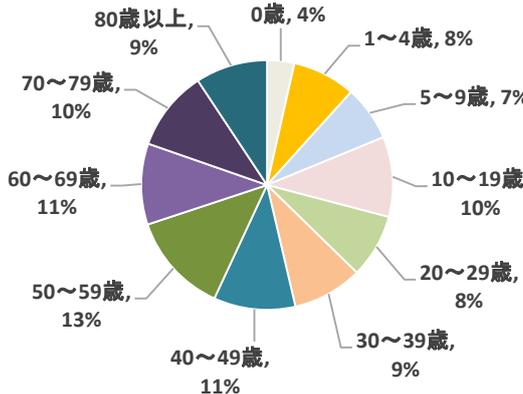
県民の皆様には引き続き 3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。

兵庫県内の定点当たり報告数推移



2023年18週以前の数値はHER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数(参考値)(国の提供データに基づく)

新規感染者の年齢階級別割合(第32週)



※2023年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

## 全数把握感染症

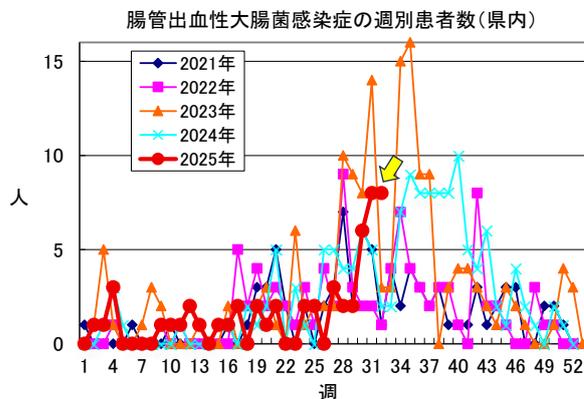
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	<b>結核 20人</b> (保健所：神戸市 12人、尼崎市 5人、明石市 1人、伊丹管内 1人、赤穂管内 1人)
3 類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 8人</b> (①神戸市；有症者；女性 10歳代；O26 VT1；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、②神戸市；無症状病原体保有者；男性 30歳代；O157 VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染、③姫路市；有症者；女性 20歳代；O157 VT型不明；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染、④姫路市；有症者；男性 20歳代；O157 VT型不明；感染地域：大韓民国；感染経路：経口感染、⑤加古川保健所管内；無症状病原体保有者；女性 30歳代；O157 VT1VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：その他、⑥加古川保健所管内；有症者；男性 7歳；O157 VT1VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：その他、⑦加古川保健所管内；無症状病原体保有者；男性 3歳；O157 VT1VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：その他、⑧豊岡保健所管内；有症者；男性 10歳代；O157 VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染) (累積報告数 53人；有症者 29人、HUS 2人)
4 類感染症	<b>重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 2人</b> (①神戸市；女性 80歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染、②西宮市；男性 50歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染) <b>日本紅斑熱 1人</b> (神戸市；男性 60歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染)
5 類感染症	<b>ウイルス性肝炎 1人</b> (神戸市；B型；女性 50歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触；ワクチン接種歴：無) <b>侵襲性インフルエンザ菌感染症 1人</b> (宝塚保健所管内；女性 80歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明) <b>侵襲性肺炎球菌感染症 5人</b> (①尼崎市；男性 70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無、②尼崎市；男性 30歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無、③宝塚保健所管内；男性 70歳代；感染地域：国内；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無、④龍野保健所管内；女性 90歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：不明、⑤洲本保健所管内；男性 70歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無) <b>梅毒 3人</b> (①神戸市；無症状病原体保有者；女性 20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒 I期；女性 30歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③姫路市；早期顕症梅毒 II期；女性 30歳代；感染地域：国内；感染経路：不明) <b>百日咳 109人</b> (保健所：神戸市 37人、尼崎市 11人、姫路市 31人、西宮市 3人、明石市 6人、伊丹管内 2人、宝塚管内 4人、加古川管内 5人、加東管内 4人、龍野管内 2人、赤穂管内 3人、洲本管内 1人；性別：男性 51人、女性 58人；年齢群：0歳 1人 (ワクチン接種歴：1回有)、1歳 1人 (ワクチン接種歴：4回有)、3歳 1人 (ワクチン接種歴：4回有)、4歳 3人 (ワクチン接種歴：4回有(2人)、3回有(1人))、5~9歳 41人 (ワクチン接種歴：4回有(33人)、無(1人)、不明(7人))、10~14歳 38人 (ワクチン接種歴：4回有(28人)、無(1人)、不明(9人))、15~19歳 5人 (ワクチン接種歴：4回有(1人)、無(1人)、不明(3人))、20歳代 5人 (ワクチン接種歴：4回有(1人)、不明(4人))、30歳代 3人 (ワクチン接種歴：不明)、40歳代 6人 (ワクチン接種歴：不明)、50歳代 1人 (ワクチン接種歴：不明)、60歳代 3人 (ワクチン接種歴：不明)、70歳以上 1人 (ワクチン接種歴：不明) (累積報告数 2,696人、うち病原体遺伝子検出 1,995人)
2025年31週までに診断されたものの報告遅れ	<b>結核 2人</b> <b>腸管出血性大腸菌感染症 1人</b> <b>レジオネラ症 1人</b> <b>百日咳 5人</b>

### 腸管出血性大腸菌感染症

今週 **8人** の報告があり、今年の累積患者数は **53人** となりました。性別では男性 26人、女性 27人、年齢階級別では、20歳代が 13人、10歳代が 8人、50歳代が 7人の順に多くなっています。

O血清群別は、O157が 23人、次いでO103が 5人の順で多く、感染経路として、経口感染が 20人から報告されています。

肉・レバーなどの食品はよく加熱し、生食は控える、箸を使い分ける、普段から手洗いを励行するなどの感染予防が大切です。溶血性尿毒症症候群（HUS）等の重篤な合併症を発症しやすい小児・高齢者は特に注意が必要です。



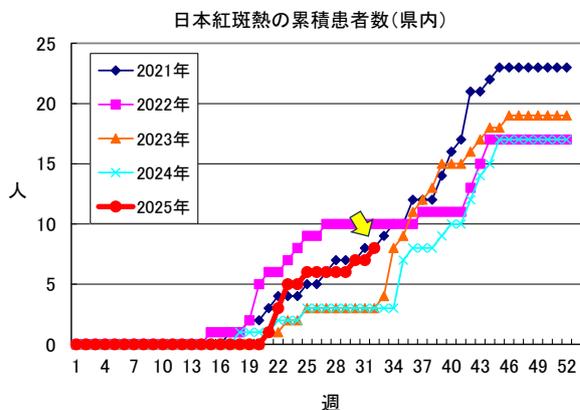
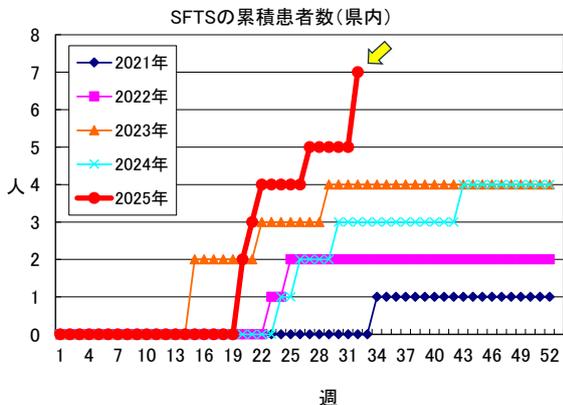
### ダニ媒介感染症（重症熱性血小板減少症候群・日本紅斑熱）

**重症熱性血小板減少症候群（SFTS）** の報告が今週は **2人** あり、今年の累計患者数は **7人** となりました。また、**日本紅斑熱** は今週 **1人**、今年の累計患者数は **8人** となっています。

これらは主に病原体（ウイルスやリケッチア）を保有するマダニに咬まれることで感染します。

SFTS は SFTS ウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は 6～14 日で、治療薬はなく対症療法となっています。一方、日本紅斑熱はリケッチア・ジャポニカを病原とし、主な症状は発熱、発疹、刺し口が赤く腫れ中心部がかさぶたになるのが特徴です。潜伏期間は 2～8 日で、治療にはテトラサイクリン系の抗菌薬等が投与されます。

マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が必要です。また、山野へ入った 2 週間以内に発熱や発疹が出た時はすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。

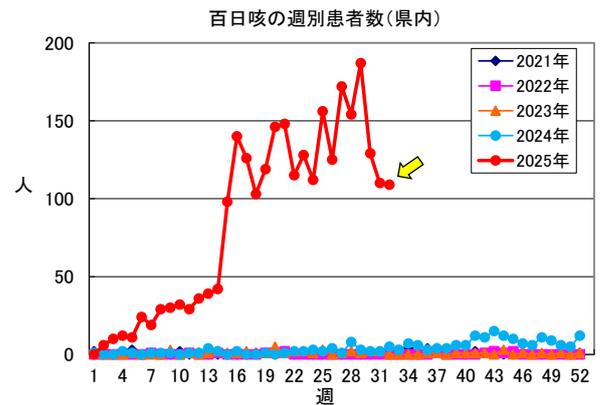


## 百日咳

今週、**109人**の報告があり、今年の累積患者数 2,696人の性別分布は、男性 1,378人、女性 1,318人、年齢分布は10～14歳が44%、5～9歳が29%、15～19歳が8%の順で多く、20歳以上は14%となっています。

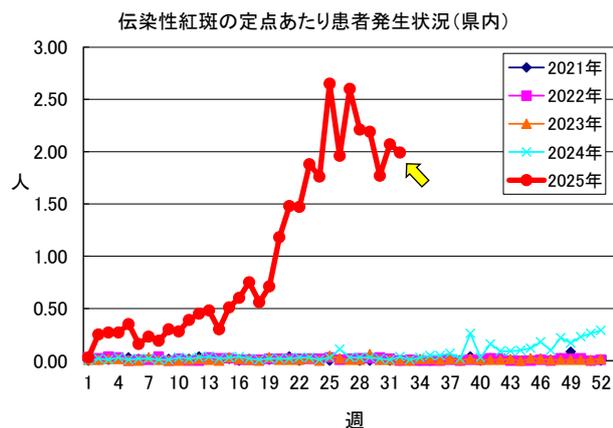
推定感染経路として家族内感染が1,476人、学校内流行が497人報告されています。

長期間続く咳が特徴ですが、ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないので、成長後に感染することがあります。



## 目で見える動向(県内)

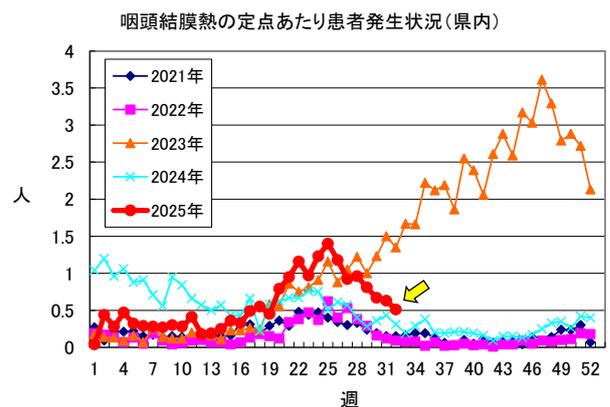
## 伝染性紅斑



定点あたり患者数は今週 **1.99人** (先週 2.07人) と減少しました。

地域的には、神戸市、尼崎市、姫路市、明石市、伊丹、宝塚、加古川、豊岡及び洲本保健所管内で警報レベルとなっています。

## 咽頭結膜熱



定点あたり患者数は今週 **0.51人** (先週 0.63人) と減少しました。

地域的には、神戸市保健所管内で警報レベルとなっています。

この週報はホームページ ([https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho\\_jyoho/infectdis.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html)) にも掲載しています。

2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <https://id-info.ijhs.go.jp/> から国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトの週報(IDWR)がダウンロードできます。